

令和6年度第1回越谷市生涯学習審議会会議録

1. 期 日 令和6年(2024年)7月11日(木)
2. 会 場 中央市民会館5階 第4～6会議室
3. 開 閉 会 開会 午前10時
閉会 午前11時30分
4. 出席委員 29名
板川委員、会田委員、宮園委員、山口委員、宮崎委員、戸張委員、杉山委員、
島村委員、大野委員、佐々木委員、中村(良)委員、石塚委員、石橋委員、
西村委員、飯島委員、中村(英)委員、瀨野委員、星野委員、小林(昌)委員、
夏目委員、岡本委員、中田委員、北畠委員、青山委員、小林(威)委員、
小林(大)委員、住田委員、真壁委員、吉川委員
5. 欠席委員 3名
若菜委員、織田委員、計良委員
6. 事務局出席者
小泉教育総務部長、川澄教育総務部副参事兼生涯学習課長、
福井 桜井公民館長、中村(則)新方公民館長、前田 増林公民館長、
綿引 大袋公民館長、谷口 荻島公民館長、中村(清)出羽公民館長、
新井 蒲生公民館長、清水 川柳公民館長、飯田 大相模公民館長、
齋藤 大沢公民館長、山納 越ヶ谷公民館長、内田 南越谷公民館長、
平林 北越谷公民館長
生涯学習課：北郷副課長、野中主幹、堤主幹(統括)、新井主幹、河井主事

会 議 次 第	
1	開 会
2	報告事項 (1) 埼葛郡市社会教育振興会理事の選出について (2) 令和6年度事業について
4	そ の 他
5	閉 会

会議内容

1 開 会 北郷副課長（司会）

2 あいさつ 青山会長
小泉教育総務部長

○司 会 新たに委員になられた方、会議に出席している職員を紹介する。

3 報告事項

○事務局 報告事項に入る前に、生涯学習に係る計画・施策、また本審議会において協議いただく範囲について、令和6年度越谷市教育行政重点施策を使用して説明する。

（4、5、8、9ページ）市では教育分野における最上位計画として、「第3期越谷市教育振興基本計画」を策定し、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間としている。この計画は、第2期計画に引き続き、「生涯学習社会の実現をめざして～いきいきとだれもが夢に向かって輝く越谷教育～」を基本理念として掲げ、生涯にわたり学んだ成果を地域社会に還元できるような「循環型生涯学習社会」の実現をめざし、教育施策全般について、学校教育・生涯学習・生涯スポーツの3つの分野から、3つの「基本目標」、10の「施策の方向」を定めている。

このうち、生涯学習に関しては、「基本目標2、生涯にわたる学びを充実し、地域文化を振興する」とし、その実現に向け、2つの施策の方向、6つの施策を展開している。黄色のマーカー部分が本審議会においてご協議いただきたい範囲である。科学技術体験センター及び文化財については別の審議会が設置されていること、図書館については、生涯学習課の事務分掌ではないことから、本審議会でご協議いただく範囲には含まれない。

「施策の方向2-1 生涯にわたる学びを進める」、そのための施策が、「2-1-1 生涯学習活動の充実と学習成果の活用」、「2-1-2 社会教育における人権教育の推進」である。「施策の方向2-2 文化活動を充実し、郷土の歴史を継承する」、そのための施策が、「2-2-1 芸術文化活動の推進」、「2-2-2 特色ある伝統文化の振興」である。

この計画・施策等に基づき、今年度の重点的な取り組みや事業を定めたものが、教育行政重点施策である。

（31、32、35、36ページ）重点的な取り組み、重点事業等を掲載している。

今年度の本審議会では、令和7年度教育行政重点施策の重点的な取り組み、重点事業について意見をいただき、そのご意見等を策定に反映させていきたいと考えている。

(1) 埼玉葛郡市社会教育振興会理事の選出について

○事務局 資料1に基づき、各組織の概要について説明する。令和6年度・7年度は、越谷市が会長に該当しており、会を取りまとめる役割が充てられていることから、事前に青山会長にお願いし、ご承引いただいていることを説明する。

※委員から意見等なし

(2) 令和6年度事業について

①社会教育について

ア 令和6年度埼玉葛郡市社会教育振興会総会並びに研修会

イ 令和6年度埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会総会・研修会

ウ 令和6年度東部地区社会教育関係委員・職員研修会

※資料の記載内容に誤りがありましたため、以下の通り訂正させていただきます。

訂正箇所：資料の1ページ ①社会教育について ア令和6年度埼玉葛郡市社会教育振興会総会並びに研修会

【誤】会場：白岡市生涯学習センター（埼玉県吉川市）

【正】会場：白岡市生涯学習センター（埼玉県白岡市）

○事務局 資料に基づき説明する。

ア令和6年度埼玉葛郡市社会教育振興会総会並びに研修会では、本審議会委員である会田委員、戸張委員、石塚委員の3名が表彰されたことを報告する。

○議長 委員に意見等を求める。

○委員 アに参加した感想を述べる。町ぐるみ白岡だが、町ぐるみでやるということで、設立にはさまざまな経緯があったと思うが、アンケートを取るときには学校を通してアンケートを回収して集約するなど、民間の団体が公的な学校等と協力して行っているのは、つくり方としては感心した。非常に町ぐるみで活動を作りこんでいるという感想を持った。

○議長 イに参加した感想を述べる。講演の講師は災害派遣ということで東松山市から震災直後に現地の行政の職員として派遣されていた方であり、現地の様子がとても詳しかった。こちらに戻ってきてからは、その経験を生かして水害対応等をされており、震災と生涯学習は様々なところで関わりがあると言われていることも多いが、とても興味深く聞かせていただいた。例えば生涯学習や公民館が元気な地域というのは、避難所運営等もスムーズにいきやすく、自分たちでトラブルを解決できる地域が多いなどと様々な調査で言われることもあり、日頃の地域活動と防災のつながりについても考えさせられた。

②公民館について

ア 公民館主催事業

各公民館長から令和6年度の特色ある事業について資料2に基づき説明する。

(主な意見、質疑)

- 委員 増林公民館の乳幼児 No.2 の公開講座「親子でたのしもう」を日曜日にやってくださることはありがたいと思った。保育園や認定こども園は、土曜日にも利用する子どもたちがおり、そうすると親子が空いているのが日曜日しかない。このような親子で楽しむ講座を公民館等で日曜日に実施していただくと、月曜日リフレッシュして、子どもも親も保育園や仕事に行くことができる。大変だと思うが、日曜日親子で楽しむ講座が増えると嬉しい。
- 委員 今、資産形成が求められているため、資産形成講座のようなものがあるとよい。
- 議長 新NISAも始まり、子どもも関わることになっており、自分が分かっているなければいけないことが増えている時期になっている。生涯学習のテーマとしても、子供向けも含めて非常に重要なテーマかと思う。
- 委員 蒲生公民館の青年期の事業で、夏休み学習室の開放があるが、子ども、中高生の居場所がなかなかなく、とてもよい事業だと思う。各地区にこのような場所があるとよい。
- 議長 中高生こそ今一番居場所がないかもしれないということが国レベルでよく言われている。学校や部活、塾ぐらいしかなく、どこか1個うまくいかなくなると全部立ち行かなくなってしまうという事がある。中高生や20代こそ地域のつながりがあったほうが良いと言われることもよくある。青年期の事業はなかなか人が集まりづらくて、企画立案が難しいところかと思うが、自習室は人が来やすい事業の1つと考える。
- 委員 地区体育祭についてお聞きしたい。南越谷地区では、今年度実施したいと思っていたが、連日の炎天下や、なかなかコロナ禍以前の状況に戻らないということがあり、話し合いの結果、中止という形になった。実施の方向で進められている地区のお話を聞きたい。
- 事務局 (大相模公民館) 昨年度は大相模地区でも体育祭は中止となった。昨年度は9月に予定をしており、自治会にアンケートを取った結果、まだまだ暑いということで、ご参加いただける自治会が少なかった。
今年度については、10月の初めに予定しており、多少の暑さは緩和できるかと考えている。ただ、ここ5年くらい開催していないということもあり、自治会役員の方なども、どのような形で参加したらよいのか分からないということもある。今までは朝8

時・9時から夕方3時・4時まで一日のプログラムでやっており、ご参加いただく方の負担も多いと考え、種目、プログラム、時間帯をどうするか、地区体育祭の主体であるスポーツ・レクリエーション推進委員会や自治会、子ども会とで意見のすり合わせをする調整会議を今月末に設けている。どのような形であれば地区体育祭に多くの方がご参加いただけるか協議いただき、改めて10月の開催に向けて地区の皆さんに呼びかけをしていきたいという形で大相模としては準備を進めている。

○事務局 (越ヶ谷公民館) 越ヶ谷地区は昨年度午前中だけの半日開催ということで実施した。午前中だけだと時間が凝縮され過ぎていて、役員が休憩が取れない等、かえって大変だということで、お昼を挟んで遅くならない程度、午後2時ぐらいには解散できるような方向で検討している。ただ、今年度は、越ヶ谷秋まつりが開催される予定であり、その1週間前に大会を予定しているため、今のところどの程度自治会にご参加いただけるのかが分からない状況である。今年度の開催については、参加自治会が6自治会以上となれば開催をするということで話を進めている。

○委員 子どもからお年寄りまでが参加できる地域の体育祭等が一番地域のコミュニケーションの輪が広がる場所ではないかと考えている。今後も公民館の館長会議等でよい事例等の話があれば参考にさせていただき、前向きに話を進める事ができればと思う。

○委員 高齢期の事業について、参加者は毎回同じ人ではないか。また、大沢公民館の高齢期のスマートフォン講座について、高齢者はスマートフォンを持ってはいるが意外と使えていないため、デジタル難民にならないためにも必要であると考え。青年期の人の方がスマートフォンの操作に詳しいため、高齢期等と分けるのではなくて、若い人から教わるようにしたらよいのではないか。

○事務局 高齢者向けの事業については、確かにある程度メンバーが固定されるという状況はある。

スマートフォン講座については、高齢者のスマートフォンの保有率は70～80%と聞いており、市の電子申請などの手続きにもスマートフォンが必要であることから、高齢者の関心も高く、事業に組み込んでいる。確かに若い方が詳しいため、そのような方に教われれば、多世代の交流につながるという部分はあるかと思う。現時点では事業者を講師として考えているが、今後そのような交流も事業に組み込めていけたらと考えている。

○事務局 資料2の8ページにある大袋公民館の白梅学級、健康に関する講演会、歴史探訪講座というのは非常に人気のある講座であり、毎年楽しみにしていらっしゃる方がいる。毎年来ていただいている方たちの健康状態を、公民館側から確認できるという意義も1つあるかと考えている。高齢者対象の事業については、広告等の

媒体というよりも口コミでの効果が1番高い。

また、白梅学級では、埼玉県立大学の学生さんにご協力いただき、スマートフォンセミナーの開催も考えている。地域の方たちと連携しながら進めていきたい。

- 議長 中高生や大学生が講師側に回るスマートフォン講座は広がりつつあり、各地で聞くことが多くなってきた。越谷市の場合は、世代別の事業計画というトラディショナルなやり方であり、最近はこのやり方は減ってきている。世代別に分けてそれぞれに企画を充てていくというのは、世代の交流を生みにくかったり、多世代型がやりにくかったりという弱点があるかもしれない。

イ 生涯学習課との連携事業

- ③家庭教育について
- ④その他生涯学習の推進について
- ⑤文化振興事業について

○議長 委員に意見等を求める。

※委員からの意見等なし。

青山会長が議長の職を降り、司会が進行役となる。

5 その他

○事務局 連絡・報告事項を3点伝える。

1点目に、越谷市では、令和8年度を始期とする第5次越谷市総合振興計画後期基本計画の策定にあたり、「市民懇談会」の参加者を募集していることを、配付チラシに基づき説明する。

2点目に、本審議会の今後の予定について説明する。第2回生涯学習審議会は、次年度の予算編成前の10月中旬～11月中旬の開催を予定している。ご協議いただく内容としては、「令和7年度教育行政重点施策の重点的な取り組み、重点事業について」ご意見をいただきたいと考えている。また、「第4期越谷市教育振興基本計画」の策定に先立ち、今年度実施する市政世論調査に、生涯学習に関する項目を加えているため、そちらの中間報告もさせていただく予定となっている。第3回生涯学習審議会は、令和7年3月の開催を予定している。

3点目に、本日配付の資料は、生涯学習の参考として情報提供させていただいたことを説明する。

6 閉 会 北畠副会長